



平成25年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月4日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社ウイズ

コード番号 7835 URL <http://www.wizinc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 横井昭裕

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長

(氏名) 大関浩一

TEL 03-3534-3180

四半期報告書提出予定日 平成24年10月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年5月期第1四半期の連結業績(平成24年6月1日～平成24年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第1四半期	331	17.6	△116	—	△114	—	△115	—
24年5月期第1四半期	281	△38.1	△120	—	△118	—	△120	—

(注) 包括利益 25年5月期第1四半期 △116百万円 (—%) 24年5月期第1四半期 △121百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第1四半期	△3,754.00	—
24年5月期第1四半期	△3,897.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年5月期第1四半期	2,361	1,288	54.5
24年5月期	2,550	1,404	55.1

(参考) 自己資本 25年5月期第1四半期 1,288百万円 24年5月期 1,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年5月期	—	—	—	—	—
25年5月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年5月期の連結業績予想(平成24年6月1日～平成25年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,280	21.9	△10	—	△10	—	△12	—	△389.41
通期	2,400	18.8	15	—	15	—	10	—	324.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料2ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年5月期1Q	30,816 株	24年5月期	30,816 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年5月期1Q	— 株	24年5月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年5月期1Q	30,816 株	24年5月期1Q	30,816 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(5) セグメント情報等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き東日本大震災からの復興需要等があり、緩やかな回復傾向にあるものの、円高・デフレ基調は継続しており、加えて雇用状況及び所得環境において大幅な改善は見られず、低調なまま推移しました。また、世界経済全体は、欧州債務不安や中国を始めとした新興国の成長鈍化等があり、より不透明な状況にあります。

このような状況のもと、玩具業界は、一部の人気キャラクター関連商品及び定番商品の販売等が堅調ではありましたが、期待をしていた夏休み商戦は全体として低調に推移し、厳しい状態にあります。

当社グループは、厳しい業界環境を考慮し、前連結会計年度に引き続き、当連結会計年度も固定費の削減及び基幹事業であるOEM製品販売に経営資源を集中し、通期の黒字化を達成するために事業を推進しております。

OEM製品販売は、主力である「たまごっち」シリーズは堅調に推移し、その他のOEM製品の納品とあわせ、ほぼ計画通りに進捗しております。

オリジナル商品販売は、主力である「東京スカイツリー(R)バンク634」シリーズにおいて、新たに「ミニバージョン」3種を追加し、シリーズ全体が堅調に推移したため、オリジナル商品販売全体は、ほぼ予想通りに進捗しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、3億31百万円（前年同期比17.6%増）となりました。

利益面においては、営業損失は1億16百万円（前年同期は1億20百万円の営業損失）、経常損失は1億14百万円（前年同期は1億18百万円の経常損失）、四半期純損失は1億15百万円（前年同期は1億20百万円の四半期純損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ1億88百万円減少し、23億61百万円となりました。これは、主に原材料及び貯蔵品の増加73百万円、仕掛品の増加31百万円があった反面、受取手形及び売掛金が1億95百万円、現金及び預金が49百万円減少したことによるものであります。

負債の部につきましては、前連結会計年度末と比べ71百万円減少し、10億73百万円となりました。これは、主に長期借入金で62百万円減少したことによるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末と比べ1億16百万円減少し、12億88百万円となりました。これは、主に当第1四半期連結累計期間の純損失計上による利益剰余金の減少1億15百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、概ね当初計画どおりに推移しており、平成24年7月5日に発表いたしました数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年6月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度まで2期連続して当期純損失を計上し、当第1四半期連結累計期間においても営業損失1億16百万円、経常損失1億14百万円、四半期純損失1億15百万円を計上しております。また、営業活動によるキャッシュ・フローも、前連結会計年度はプラスとなったものの、前々連結会計年度まで4期連続してマイナスとなっている状況であります。これらの状況により、継続企業の前提に関する重要事象等が存在しており、当社グループは当該状況を解消すべく、次のような取り組みを実施しております。

① 売上高の拡大

OEM製品販売においては、組織の効率化・最適化を図るとともに、顧客企業との連携を密にし、「たまごっち」「プリキュア」シリーズ関連製品を中心として、その他の新規商材及び新規顧客についても積極的に受注活動をおこない、売上高の拡大を目指しております。また、オリジナル商品販売におきましても、平成24年5月に開業した東京スカイツリー関連商品の本格的な展開等、流行の把握及び販売時期の判断等を従前以上に的確におこない、売上高の増加に結びつけるべく継続的に取り組んでおります。

② 固定費の削減

平成24年4月に実施しております本社移転等により、当連結会計年度においては、更なる削減が見込まれる予定であります。

③ 資金繰りへの対応

現在の事業方針から、投資及び出資等の多額の支出を伴う資金需要が発生しないため、現状の現金及び現金同等物の残高にて、当面の間の運転資金及び借入金の返済等が十分に賄える予定であります。また、資金調達につきましても、金融機関を中心とした手当により当面問題はないと認識しております。

以上により、当第1四半期連結累計期間における業績は概ね予定どおりに推移しており、当社グループは、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,250,279	1,200,851
受取手形及び売掛金	449,126	253,590
商品及び製品	57,123	49,605
仕掛品	22,646	54,040
原材料及び貯蔵品	32,422	105,830
その他	62,120	25,702
流動資産合計	1,873,718	1,689,619
固定資産		
有形固定資産	56,938	52,999
無形固定資産	3,888	3,565
投資その他の資産		
投資有価証券	518,129	518,431
その他	98,054	97,313
投資その他の資産合計	616,183	615,745
固定資産合計	677,010	672,310
資産合計	2,550,729	2,361,930
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	92,209	107,308
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	251,460	251,460
賞与引当金	—	11,934
その他	81,973	45,278
流動負債合計	525,643	515,981
固定負債		
長期未払金	265,526	265,526
長期借入金	286,240	223,375
退職給付引当金	66,292	67,141
その他	2,031	1,808
固定負債合計	620,090	557,852
負債合計	1,145,734	1,073,833
純資産の部		
株主資本		
資本金	555,235	555,235
資本剰余金	587,435	587,435
利益剰余金	274,583	158,900
株主資本合計	1,417,253	1,301,570
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△303	△174
為替換算調整勘定	△11,954	△13,298
その他の包括利益累計額合計	△12,258	△13,473
純資産合計	1,404,995	1,288,096
負債純資産合計	2,550,729	2,361,930

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年8月31日)
売上高	281,932	331,557
売上原価	174,326	233,883
売上総利益	107,605	97,674
販売費及び一般管理費	227,977	213,772
営業損失(△)	△120,371	△116,097
営業外収益		
受取利息	77	78
受取配当金	407	1,127
為替差益	1,998	2,619
持分法による投資利益	503	173
その他	1,014	2
営業外収益合計	4,001	4,002
営業外費用		
支払利息	2,512	2,593
営業外費用合計	2,512	2,593
経常損失(△)	△118,883	△114,688
特別損失		
固定資産売却損	—	77
固定資産除却損	—	40
事務所移転費用	1,500	—
特別損失合計	1,500	118
税金等調整前四半期純損失(△)	△120,383	△114,806
法人税等	△263	876
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△120,119	△115,683
四半期純損失(△)	△120,119	△115,683

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△120,119	△115,683
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△126	128
為替換算調整勘定	△1,451	△1,343
その他の包括利益合計	△1,577	△1,215
四半期包括利益	△121,697	△116,898
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△121,697	△116,898

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年6月1日至平成23年8月31日)

当社グループは、報告セグメントが1つであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年8月31日)

前連結会計年度において、アミューズメント事業を営んでいた株式会社ウィズダムを清算し、当社グループは、おもちゃ事業の単一セグメントとなったため、記載を省略しております。